

【日本水産株式会社】食品ロス削減に向けた取組

<商慣習の見直し（賞味期限表示の大括り化）>

- 缶詰（PB品を除く）において、2019年7月製造分より、賞味期限の年月表示を行っている。
- レトルトパウチにおいて、2022年2月製造分より、賞味期限の年月表示を行っている。

<食品ロス削減・食品リサイクルの取組>

- 端数品など従来は廃棄していた商品を、フードバンクへ寄贈している。
- 生産で発生する動植物性残渣について目標を設定し削減に取り組んでいる。
- 賞味期限延長に向けたテスト等を実施中。

- 缶詰（PB品を除く）において2019年7月製造分より、レトルトパウチにおいて2022年2月製造分より、賞味期限の年月表示を行っています。
- 2008年度より、1ケースに満たない端数品など従来は廃棄していた冷凍食品を、NPO法人セカンドハーベスト・ジャパンへ寄贈しています。
- 生産で発生する動植物性残渣 * 国内グループ会社、持ち分会社含む
2021年度 原単位で24.5%削減（2017年度対比）
- 賞味期限延長に向けた取り組みを行っており、おさかなのソーセージは30日延長、ねり製品の香味焼シリーズは15日延長しました。また、その他のカテゴリーにおいても、賞味期限の延長に向けたテスト等を継続して実施しています。

【関連ウェブページ】

<https://nissui.disclosure.site/ja/themes/140>

【お問い合わせ先】

サステナビリティ推進部サステナビリティ推進課 (sustainability@nissui.co.jp)

